

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学 術)	氏名 Author	SAWANG MEESAENG
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation Environmentality and Cultural Identity Modification of the Akha in the Northern Thailand: Focusing on the Arabica Coffee Business and Sustainable Development			
論文審査担当者 Dissertation Committee Members			
主 査 Committee Chair	教授 関 恒樹	印 Seal	
審査委員 Committee Member	教授 片柳 真理		
審査委員 Committee Member	准教授 山根 達郎		
審査委員 Committee Member	講師 中空 萌		
審査委員 Committee Member	准教授 牧 貴愛		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は、タイ北部山地の少数民族アカの人々が、コーヒー栽培とビジネスを拡大する過程で、環境保全を中心的価値に据える主体 (eco-rational subject) へといかに移行し、同時にアカの文化がいかに変容したかを検討することを目的とする。第1章では、分析概念としての「環境統治性 (environmentality)」や「環境合理的主体」が説明され、関連文献の包括的整理が行われた。第2章では、タイ北部山地におけるコーヒー栽培の歴史的経緯が概説された。第3章では、調査地村落のコーヒー栽培農家の家計の変化、収益の増加が確認された。第4章では、環境合理的主体を生み出す複数の権力、特に直接的、間接的権力のあり方が論じられた。第5章では、調査地におけるコーヒー・ビジネスを担う主要なアクターと、アクター間のネットワークが示された。第6章は、コーヒー・ビジネス拡大と同時に、アカの人びとの「伝統」や「文化」が再解釈され、新たな意味を付与される動態が議論された。第7章では、少数民族社会における新たな商業的作物栽培が、人々の環境意識とアイデンティティの変容にもたらす影響が結論として述べられる。</p> <p>以上のような内容の本論文は、タイ山地民村落におけるフィールドワークに基づく貴重な資料に基づいており、環境人類学や政治生態学の分野に貢献し得る貴重な成果であることが認められた。また、本論文の議論の一部は、査読付き単著論文 (Reconsidering Environmentality: Coexistence of Direct and Indirect Power in Conservation by Coffee Production in Chiang Rai, Thailand, <i>Journal of International Development and Cooperation</i>, Vol 28, No.2, 2022) として発表済みであり、学位論文提出要件を満たしていることが確認された。</p> <p>以上、審査の結果、本審査委員会委員は、本論文が著者に博士 (学術) の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			